

第5章 資 料

1. 駐輪場設置状況

- ・ J R等駅周辺 (①②③)
- ・ バス停併設 (①②)

2. 自転車歩行者道 (主なもの)

- ・ 倉敷地区 (①②③④⑤)
- ・ 水島地区
- ・ 児島地区 (①②③)
- ・ 玉島地区 (①②)
- ・ 真備地区
- ・ 倉敷用水沿い
- ・ 倉敷川沿い
- ・ 下津井電鉄軌道跡

3. 市民アンケート結果

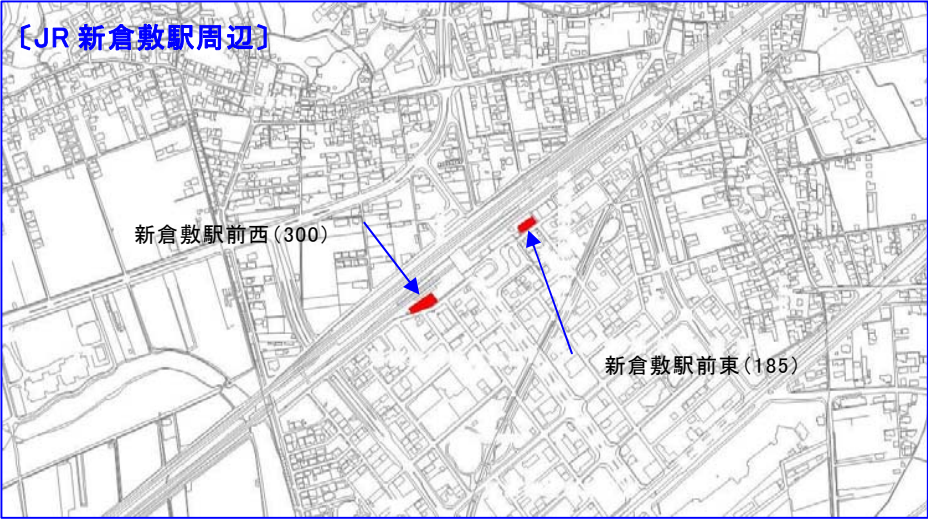
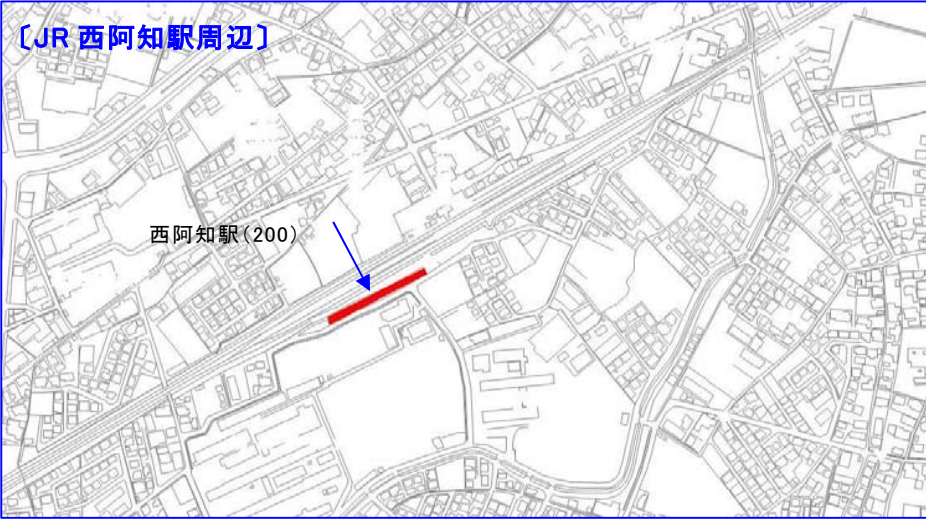
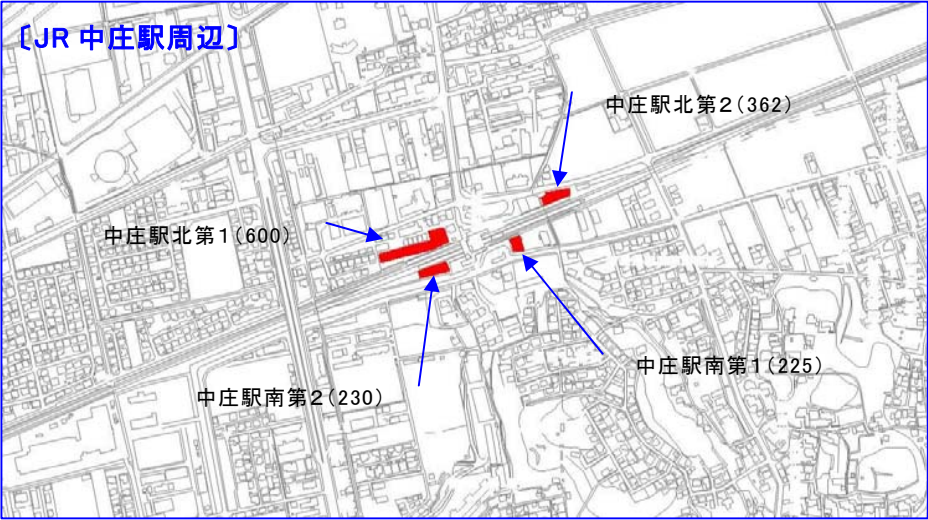
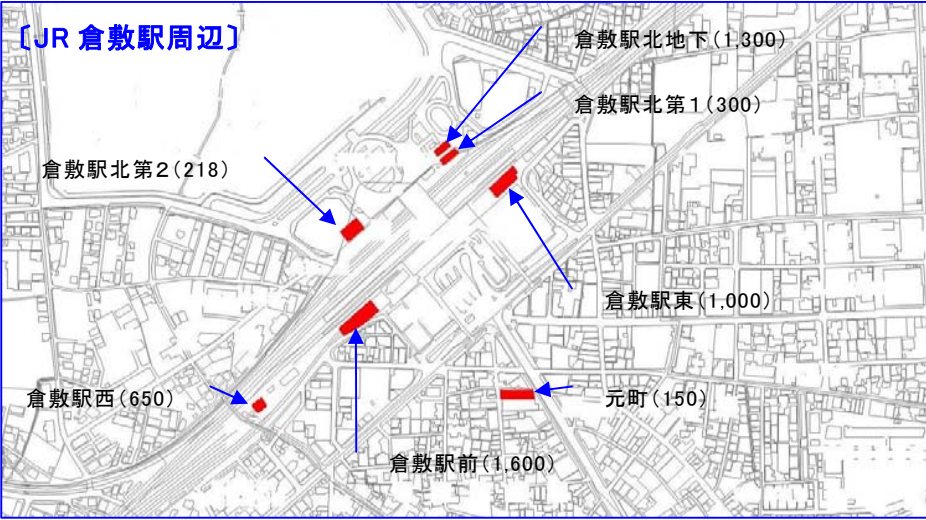
倉敷市内にある「自転車道」「自転車歩行者道」の一例



どこにあるか、わかりますか？

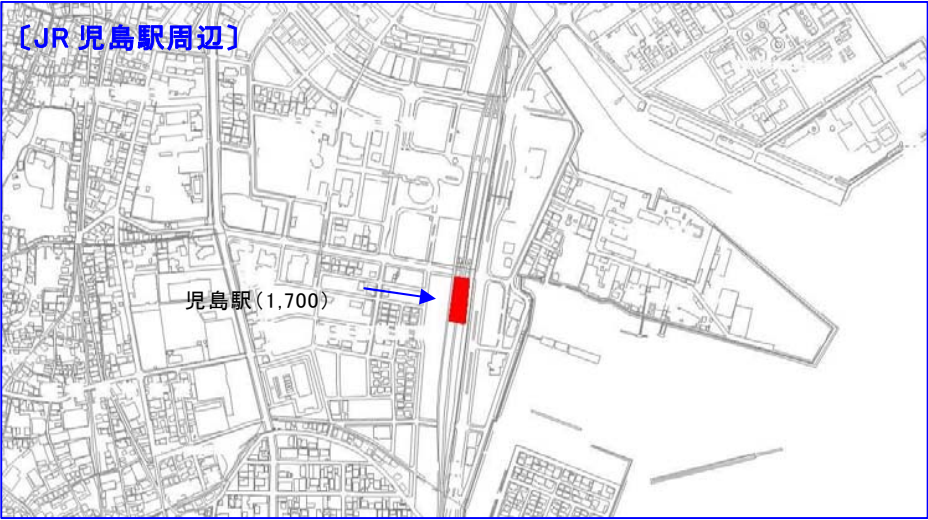
【1 駐輪場設置状況（市営）①】

（ ）内は収容台数



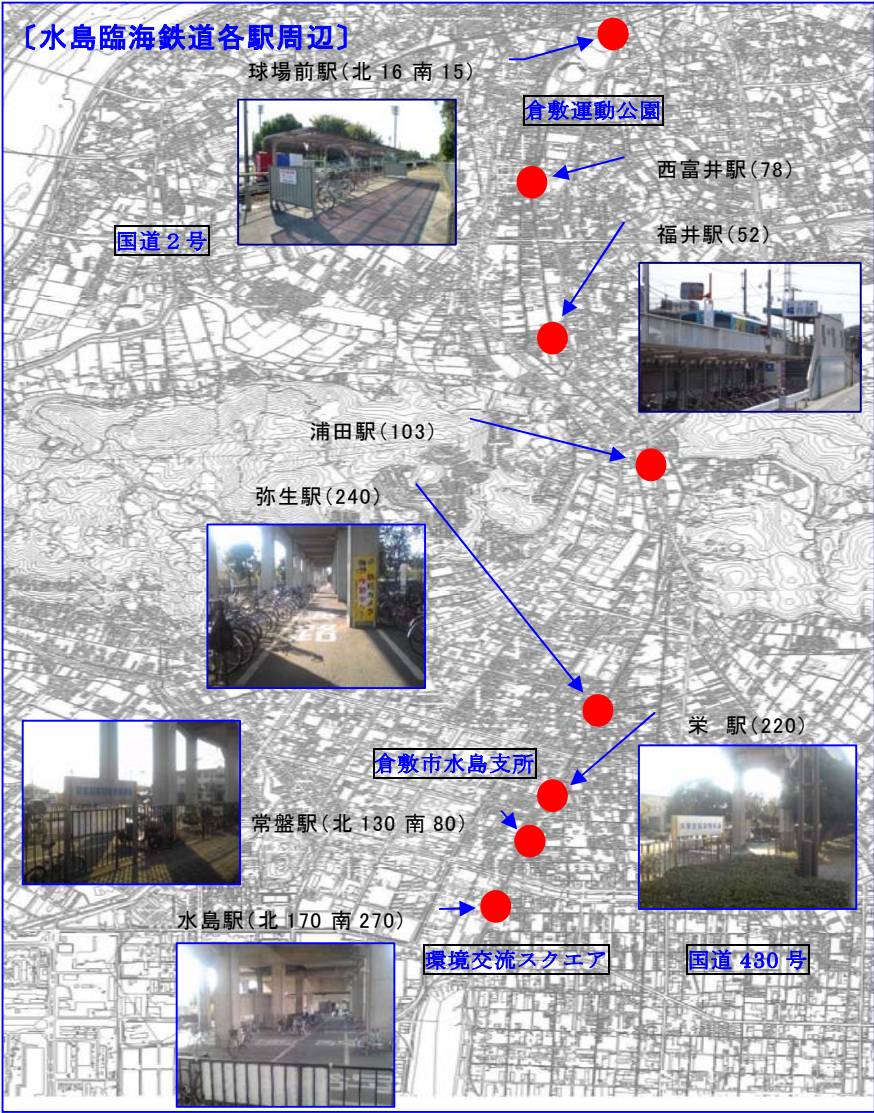
【1 駐輪場設置状況（市営）②】

（ ）内は収容台数



【 1 駐輪場設置状況（市営＋事業者）③】

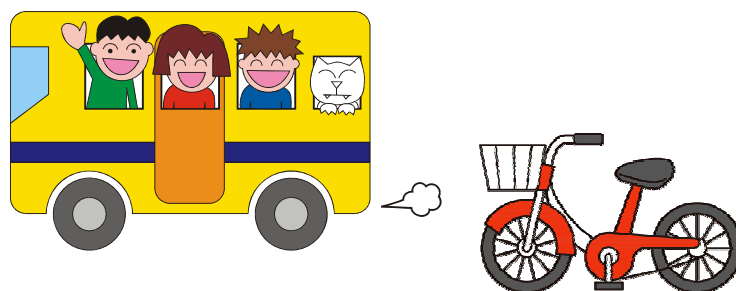
（ ）内は収容台数

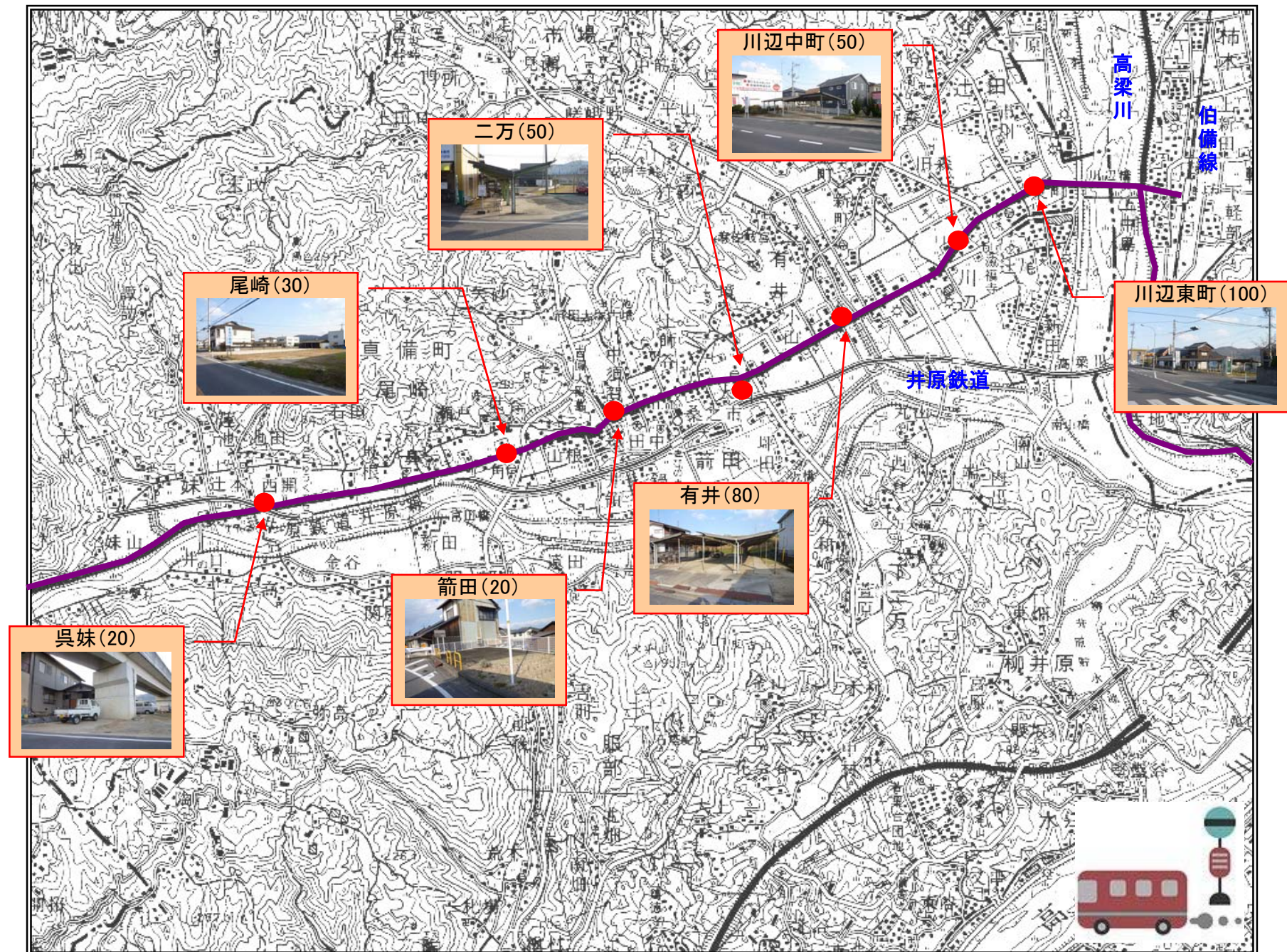


【バス停併設駐輪場設置状況①】



— 両備バス — 下電バス (「倉敷市公共交通のご案内」より)



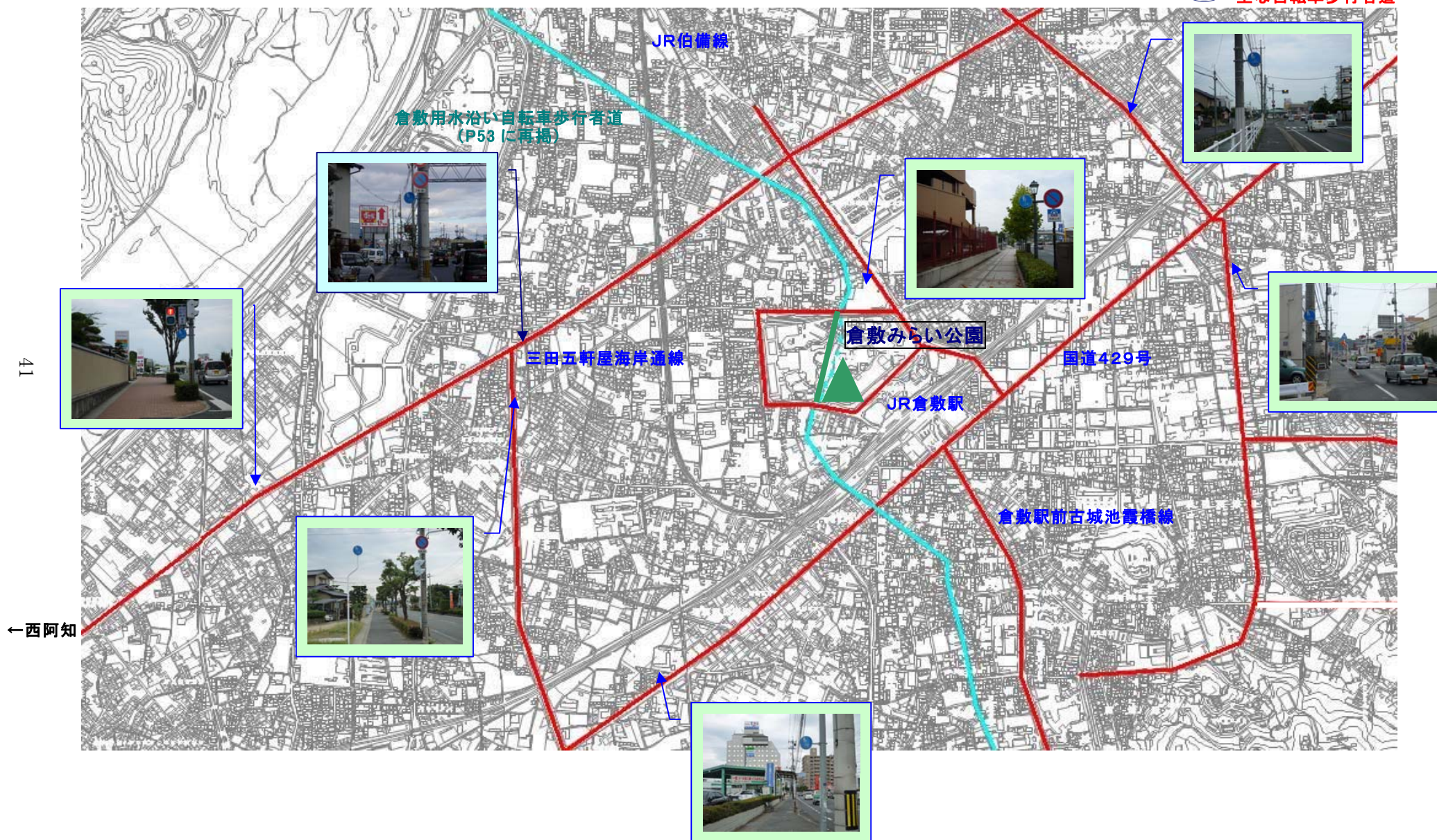


【2. 自転車歩行者道（主なもの）】

【倉敷地区①】



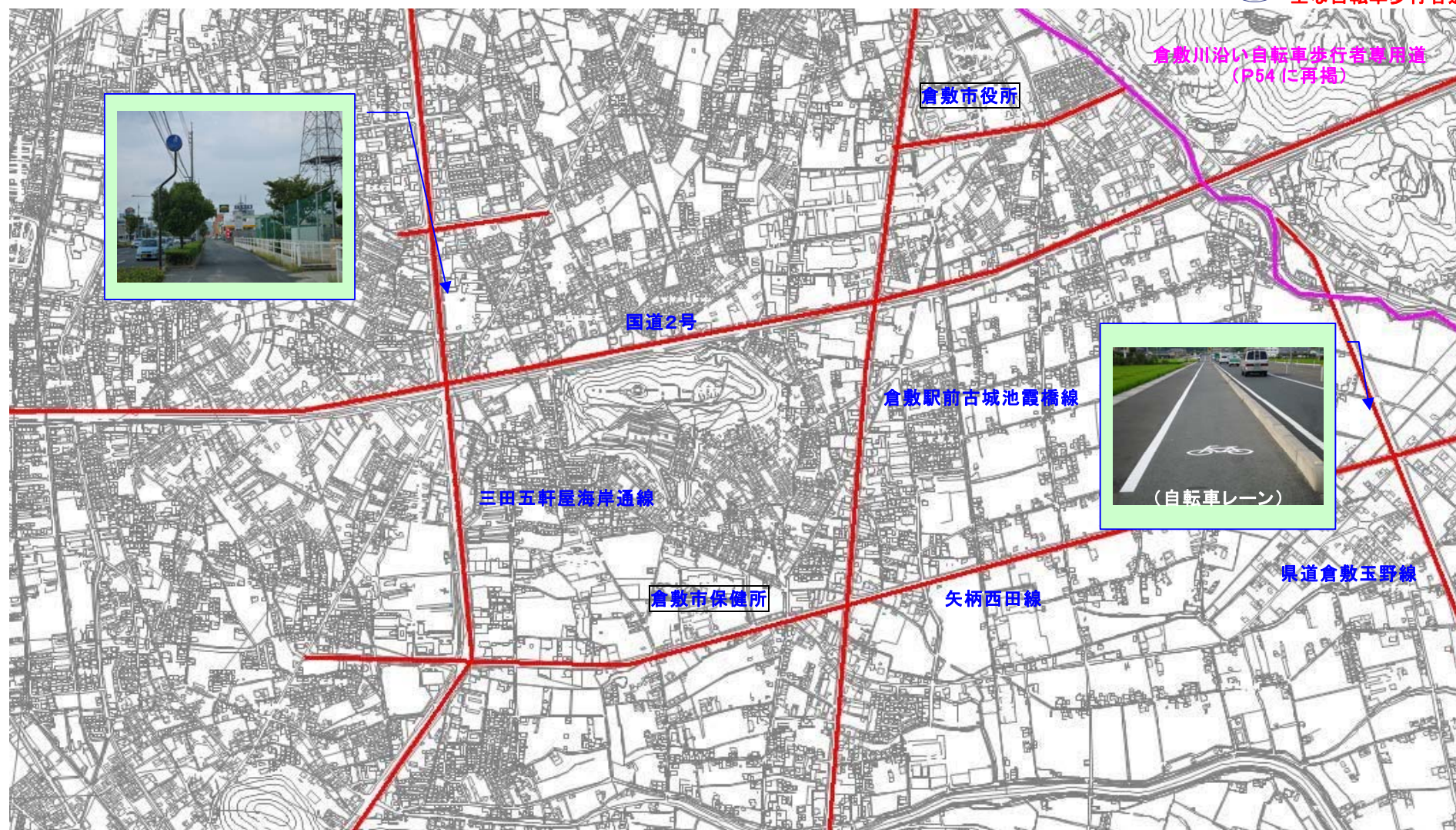
主な自転車歩行者道



【倉敷地区②】



主な自転車歩行者道



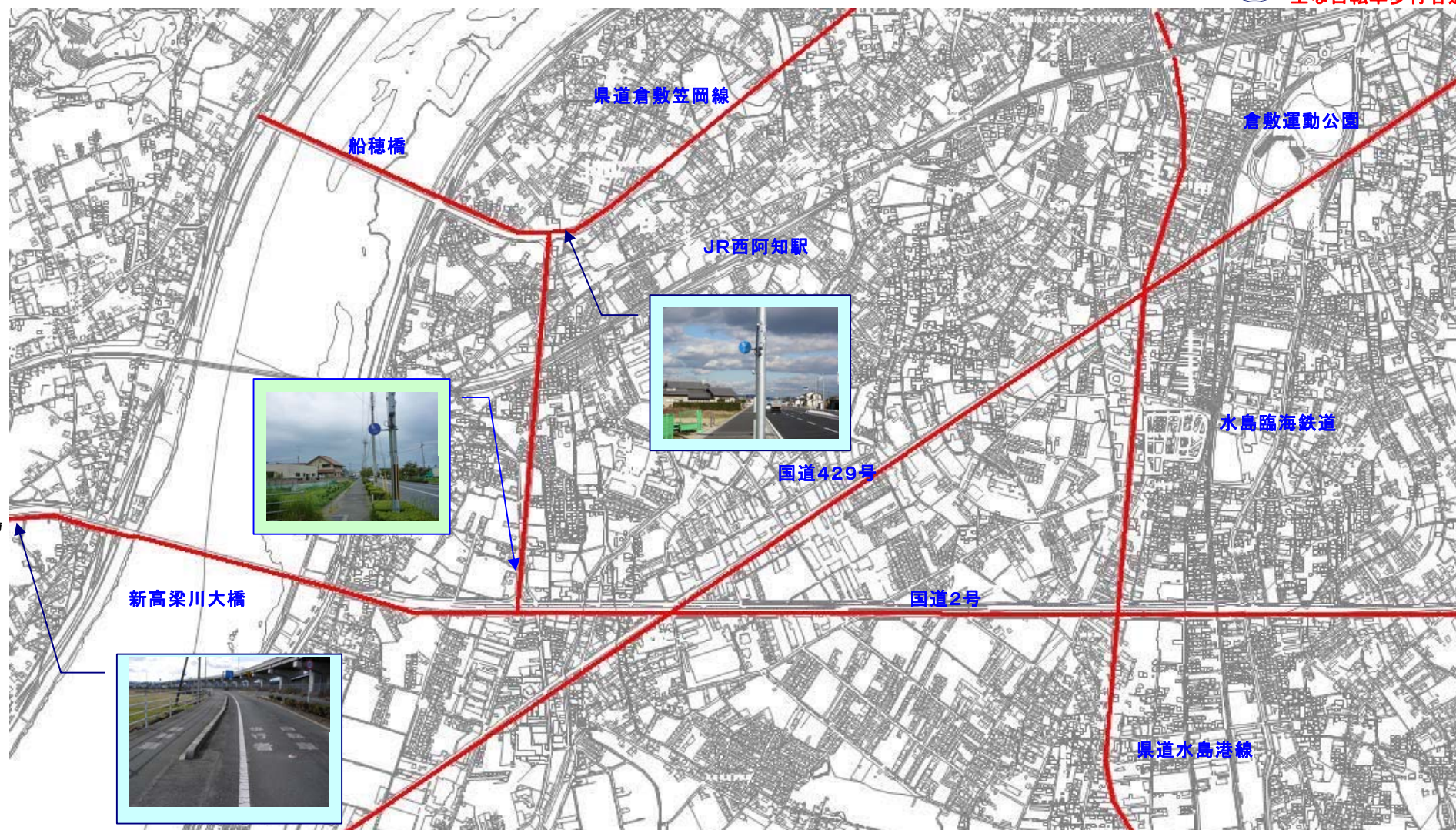
【倉敷地区③】



主な自転車歩行者道

43

↑ 水島

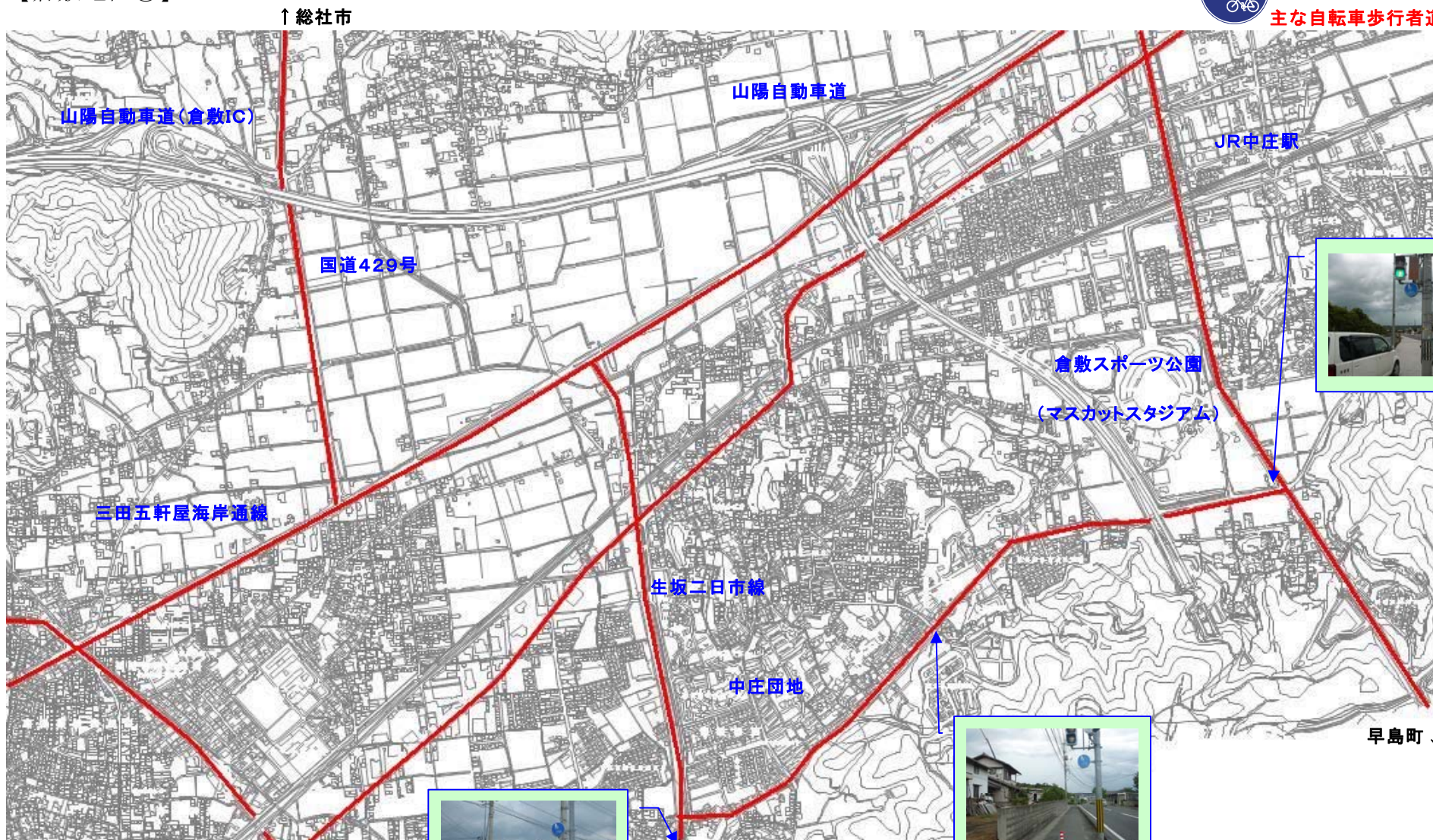


↓ 水島

【倉敷地区④】



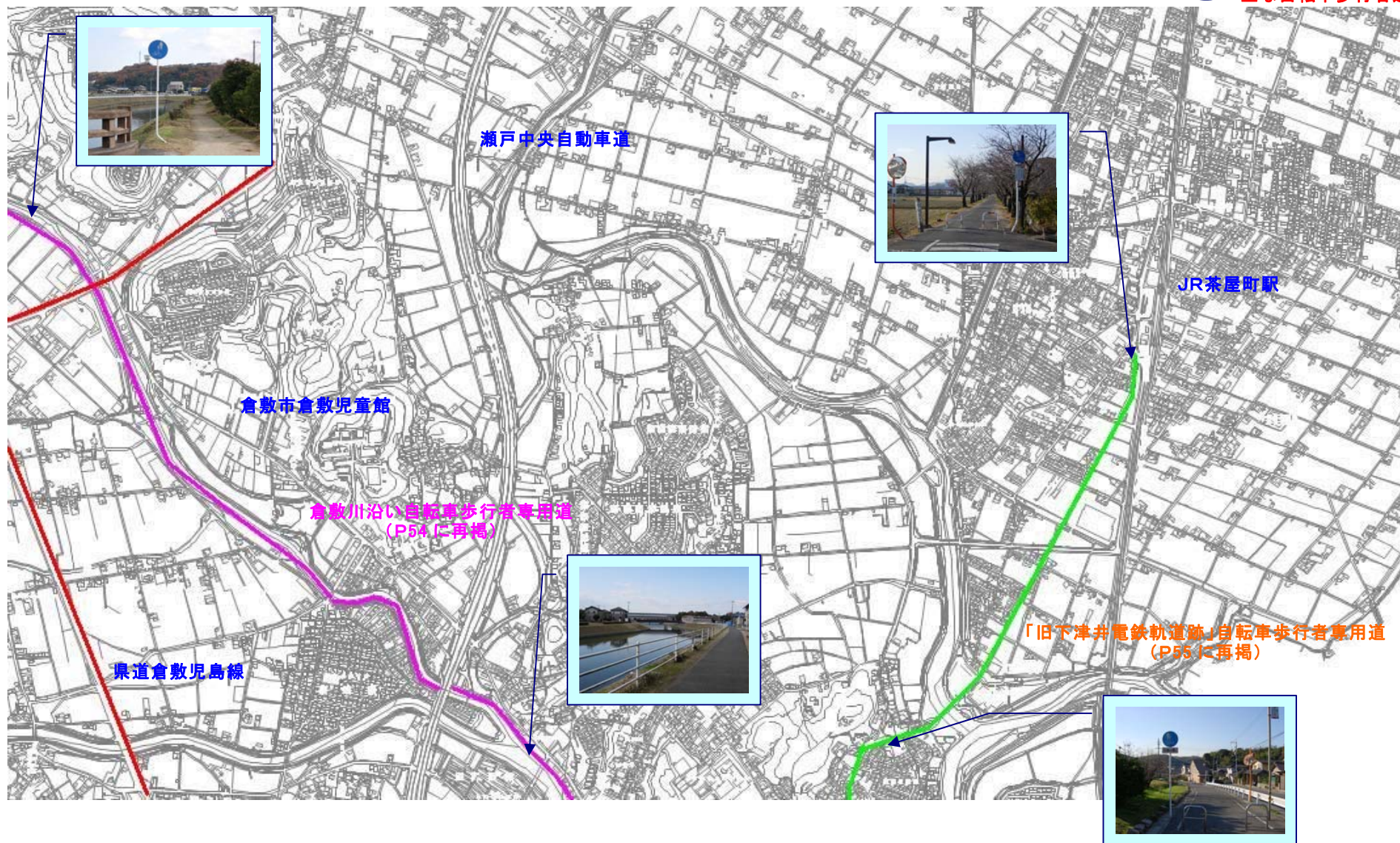
主な自転車歩行者道



【倉敷地区⑤】



主な自転車歩行者道

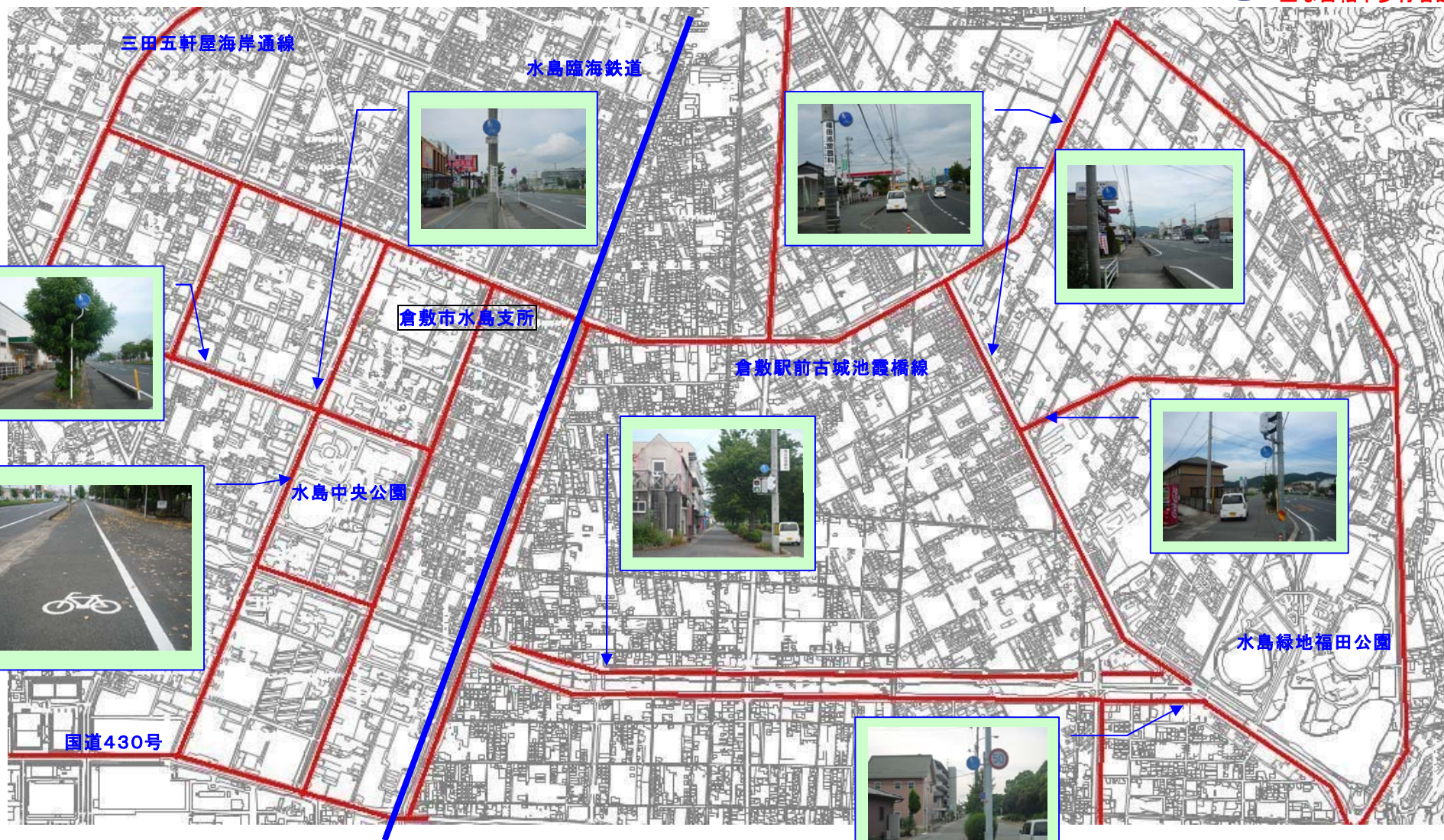


【水島地区】



主な自転車歩行者道

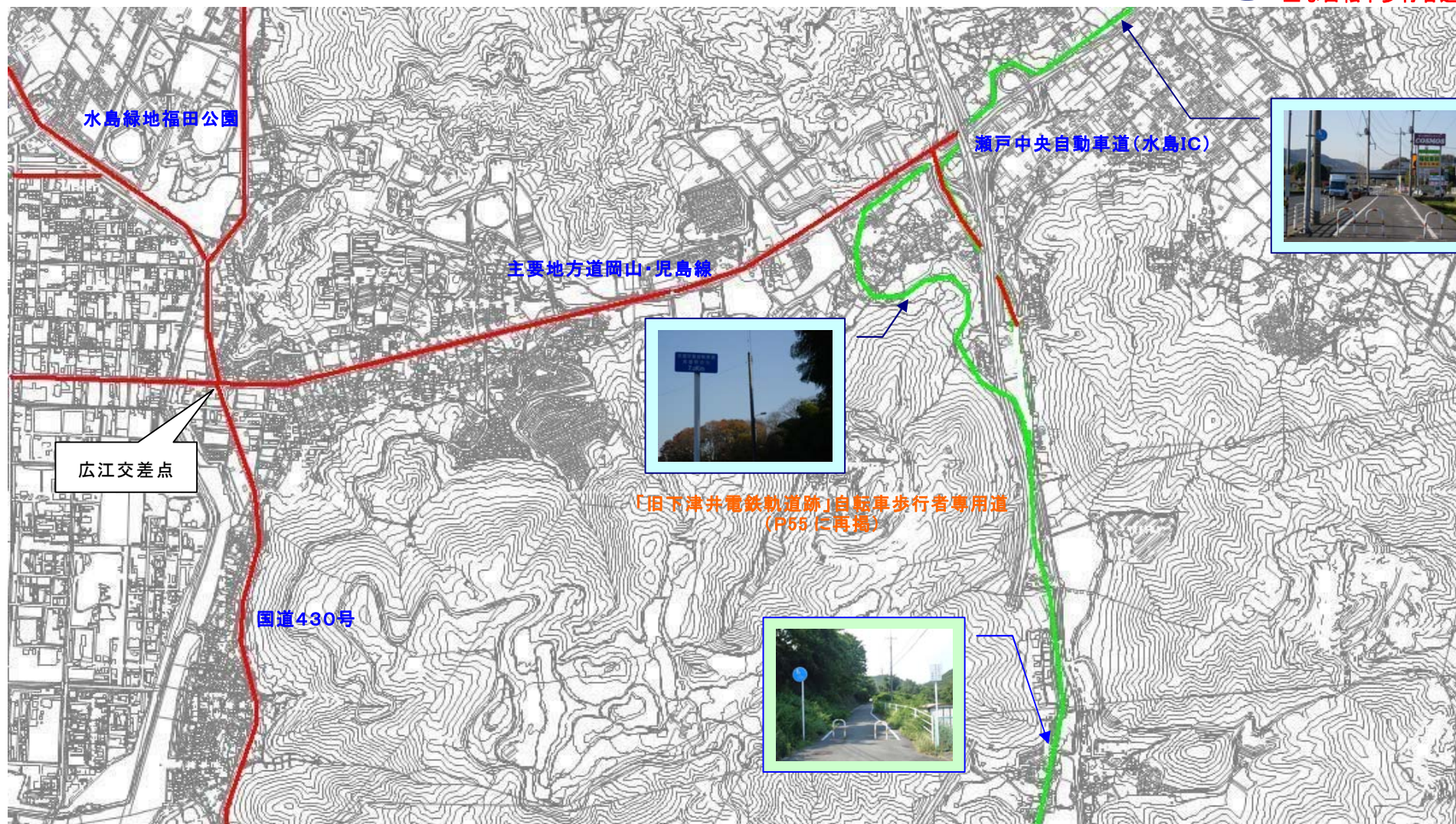
46



【児島地区①】



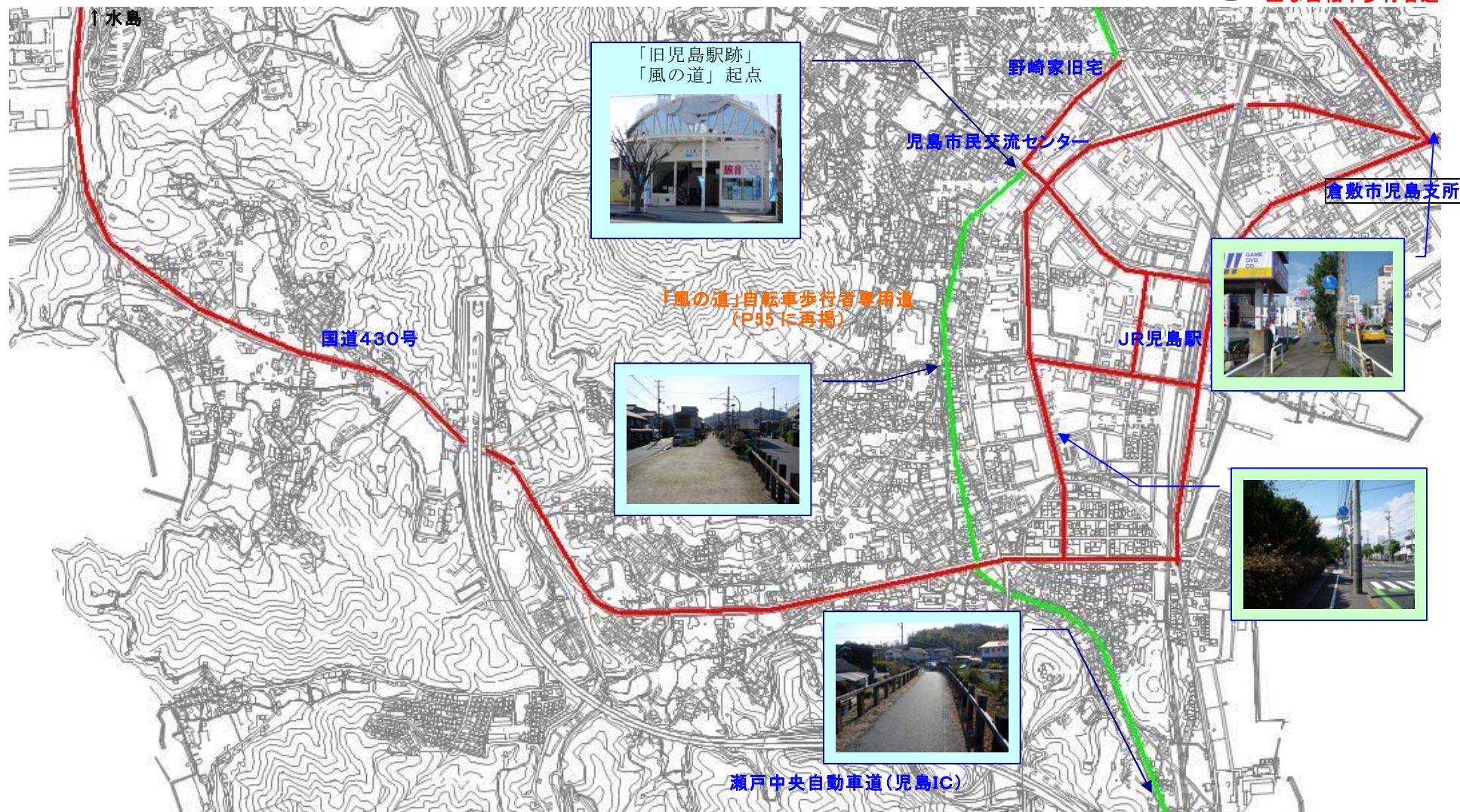
主な自転車歩行者道



【児島地区②】



主な自転車歩行者道



【児島地区③】



主な自転車歩行者道

↑ JR児島駅



瀬戸中央自動車道(児島IC)

児島モーターボート競走場



「風の道」自転車歩行者専用道
(P55に再掲)

「旧下津井駅跡」
「風の道」終点



「旧鷺羽山駅跡」

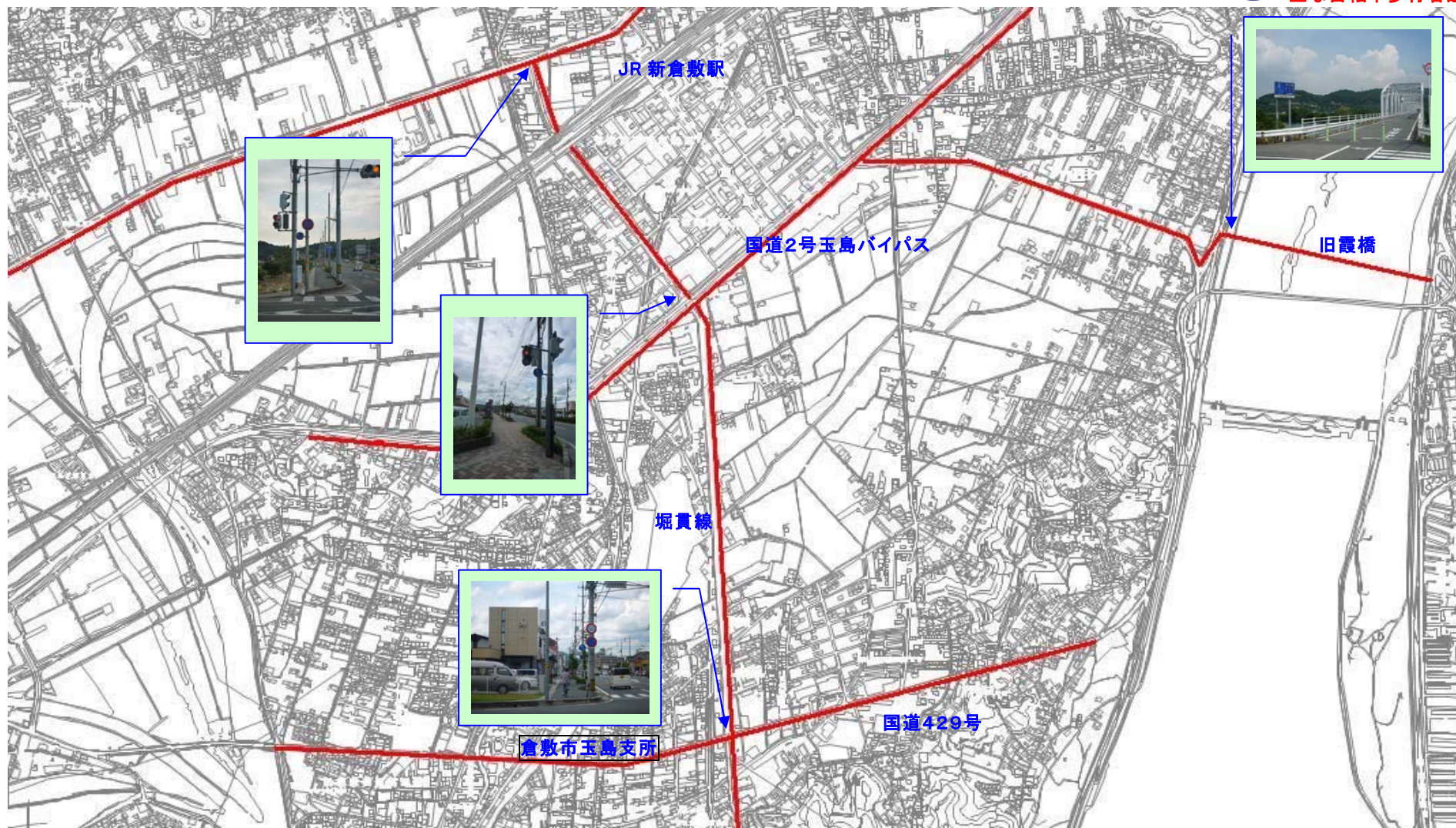


鷺羽山

【玉島地区①】



主な自転車歩行者道



【玉島地区②】



主な自転車歩行者道

↑ JR新倉敷駅

倉敷市玉島支所

堀貫線

水島→

水玉ブリッジライン

円通寺

水玉ブリッジライン

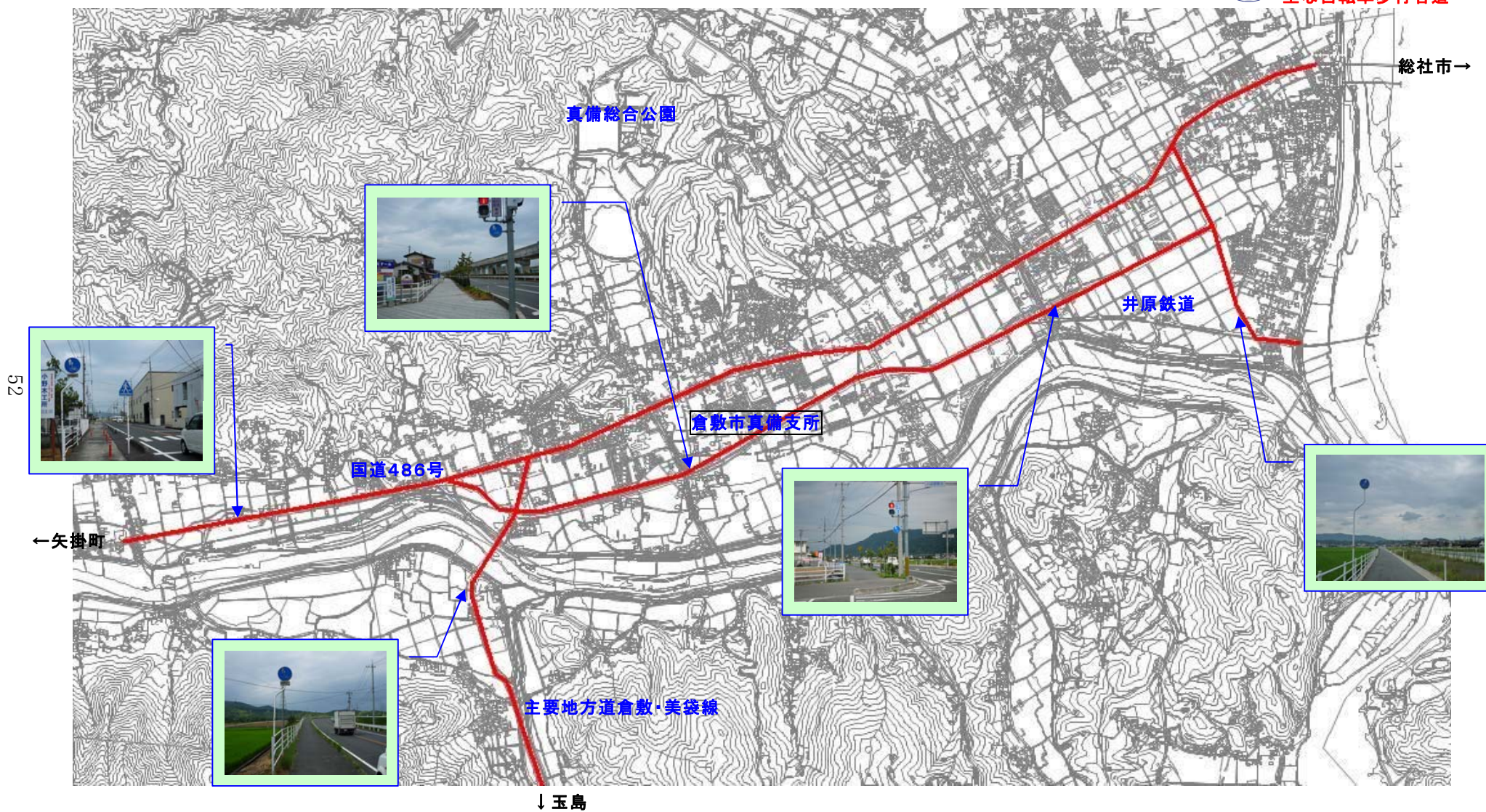
← 勇崎・沙美

↓ E地区・玉島ハーバーアイランド

【真備地区】



主な自転車歩行者道

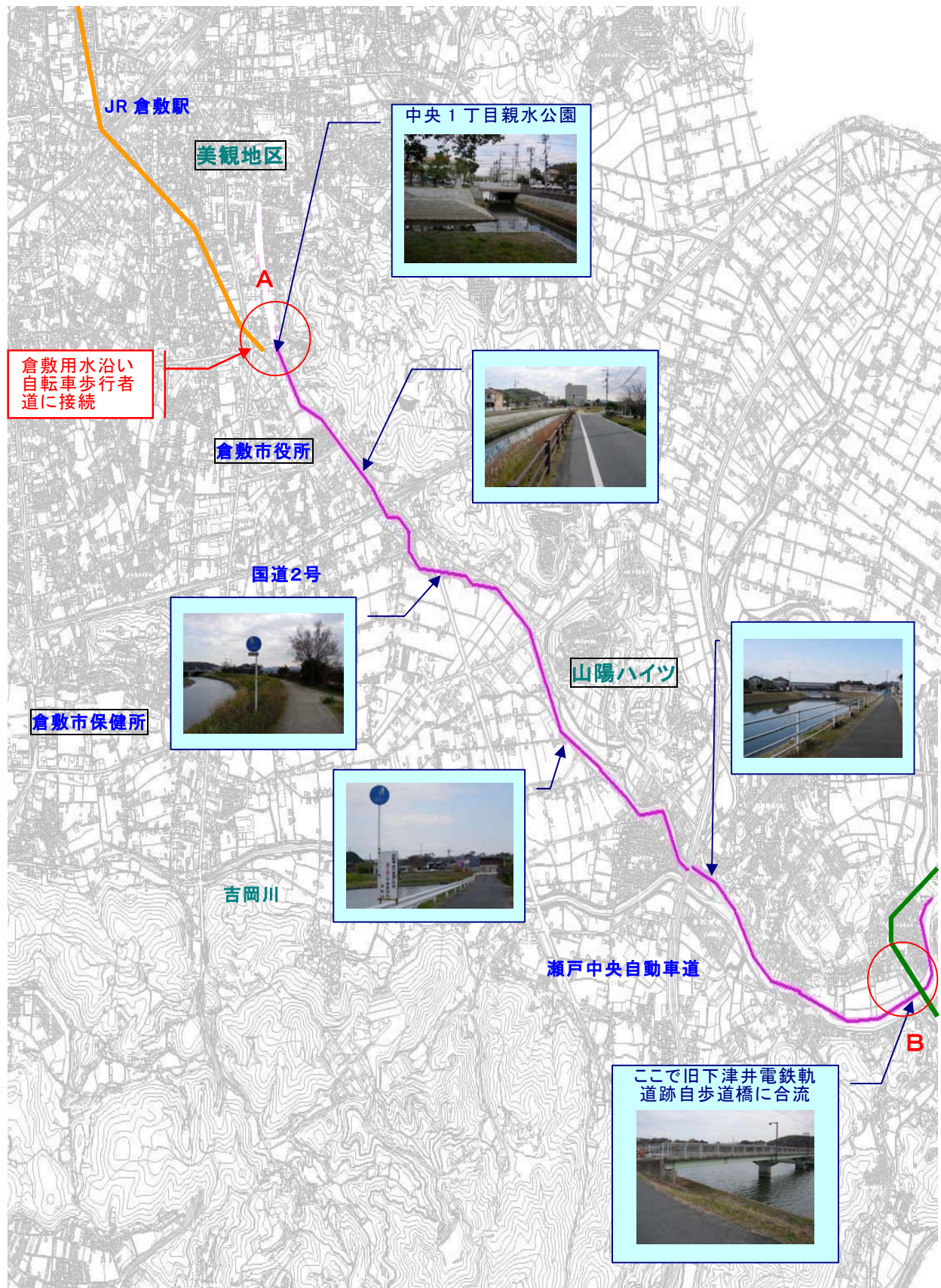


〈倉敷用水沿い自転車歩行者専用道（一部車道併用）〉

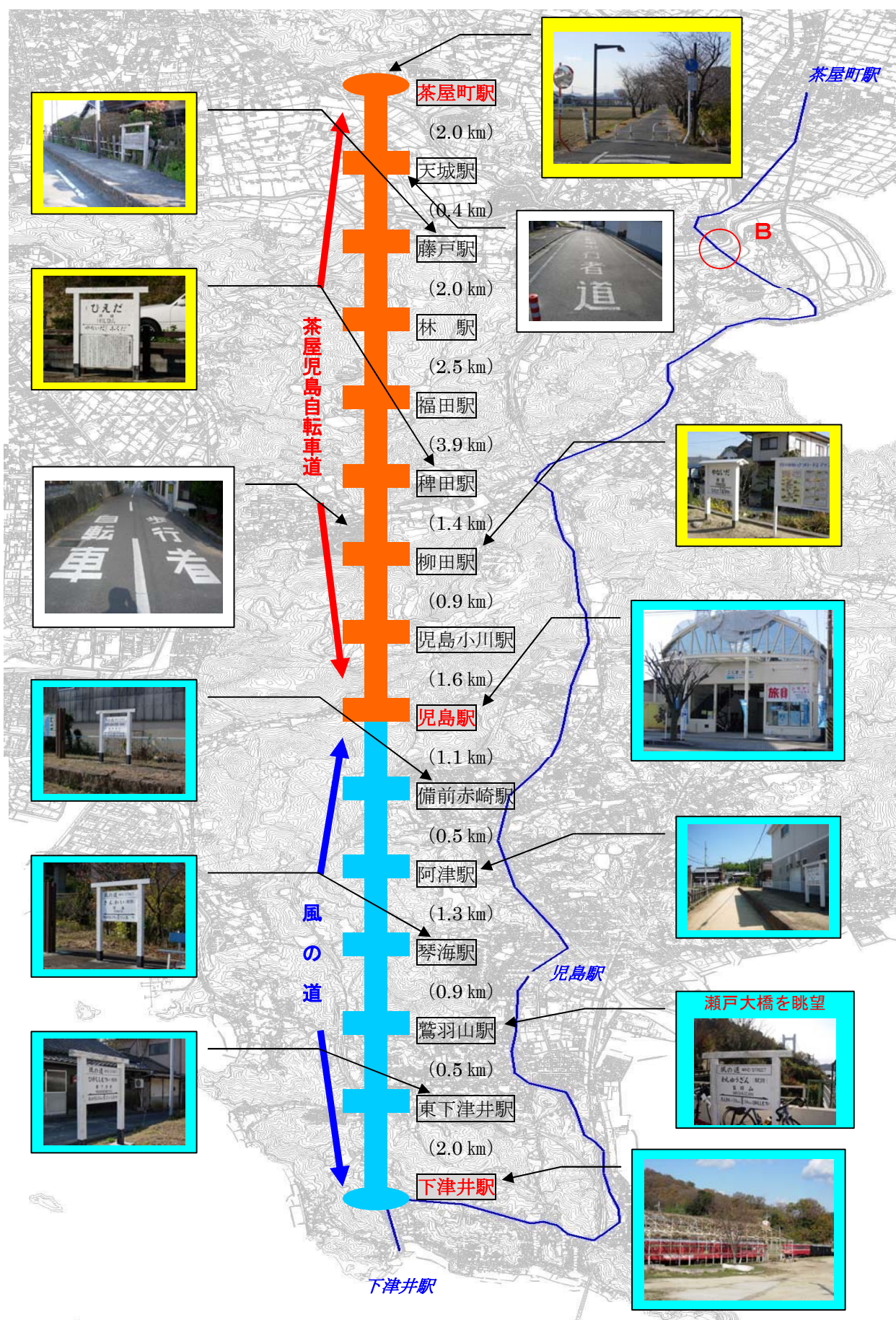
〔酒津～大内～石見町～白楽町 3.5 km〕



〈倉敷川沿い自転車歩行者専用道 中央1丁目～粒浦・有城～藤戸町天城 6.5 km〉

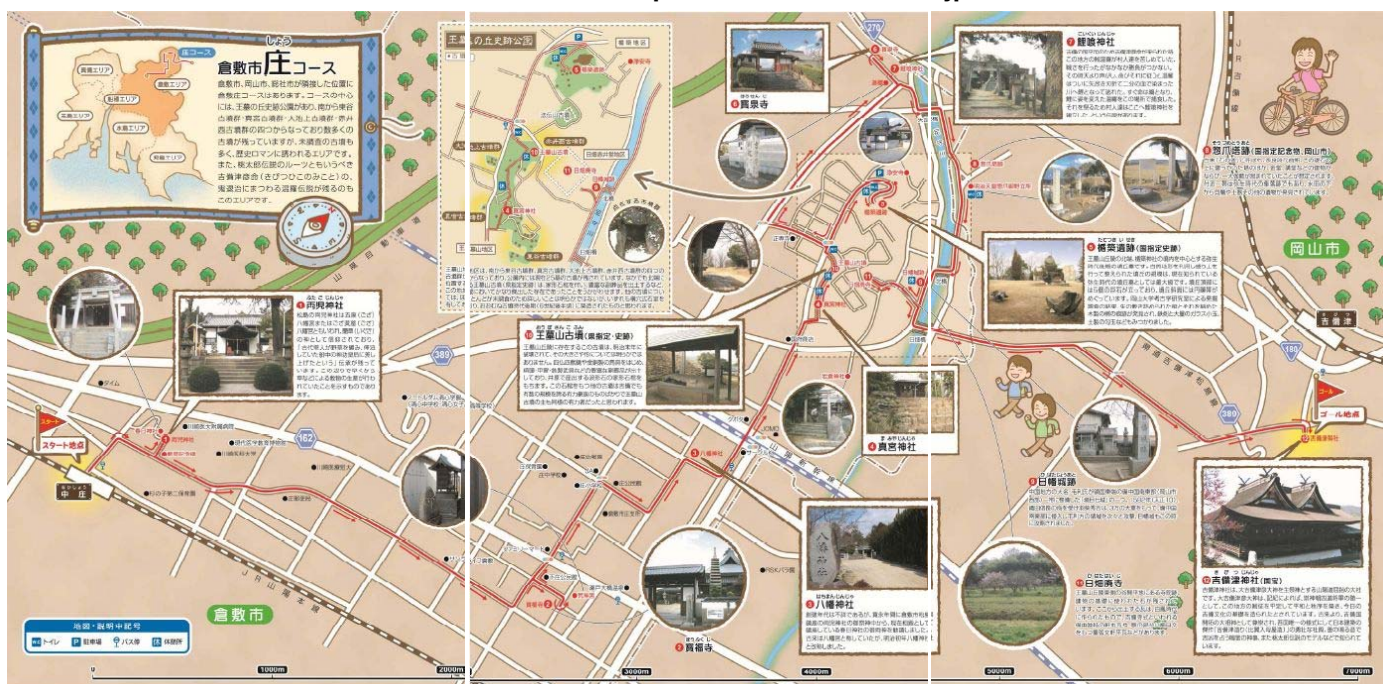


〈下津井電鉄軌道跡 茶屋町～（茶屋児島自転車道）～児島～（風の道）～下津井 21.0 km〉





平成 24 年 3 月末までは、倉敷観光コンベンションビューローホームページ〈<http://kankou-kurashiki.jp/>〉
 平成 24 年 4 月以降は、「倉敷観光 WEB サイト」〈<http://www.kurashiki-tabi.jp/>〉からダウンロードできます。



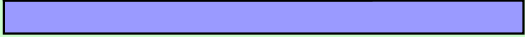
【3. 市民アンケート結果】

自転車利用について(H23. 8. 24～9. 4実施)

アンケート送付人数 1,025名
有効回答者数 403名
アンケート回答率 39.3%

基本方針策定の基礎資料とするために、市民モニターの皆様を対象としたアンケートを実施しました。

モニターの属性(性別)

選択	件数	割合	(n= 403)
女性	167 件	41.4 %	
男性	236 件	58.6 %	

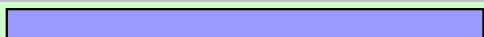
モニターの属性(年代)

選択	件数	割合	(n= 403)
10代	0 件	0 %	
20代	22 件	5.5 %	
30代	67 件	16.6 %	
40代	82 件	20.3 %	
50代	73 件	18.1 %	
60代	108 件	26.8 %	
70代	47 件	11.7 %	
80代	4 件	1 %	

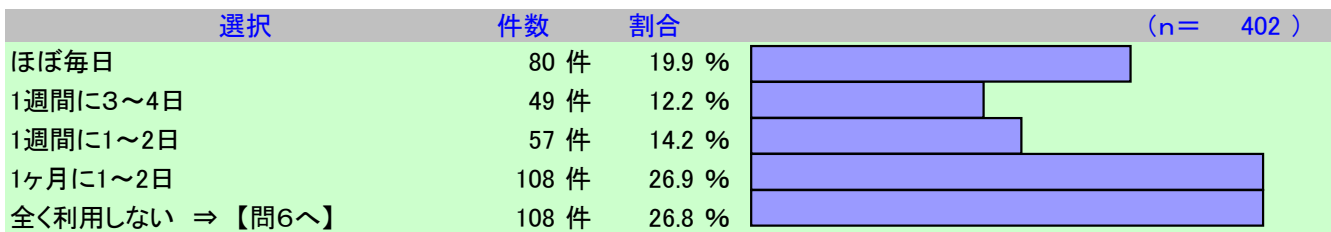
モニターの属性(地区)

選択	件数	割合	(n= 403)
倉敷	188 件	46.7 %	
児島	44 件	10.9 %	
玉島	45 件	11.2 %	
水島	67 件	16.6 %	
庄	16 件	4 %	
茶屋町	14 件	3.5 %	
船穂	5 件	1.2 %	
真備	17 件	4.2 %	
市外	7 件	1.7 %	

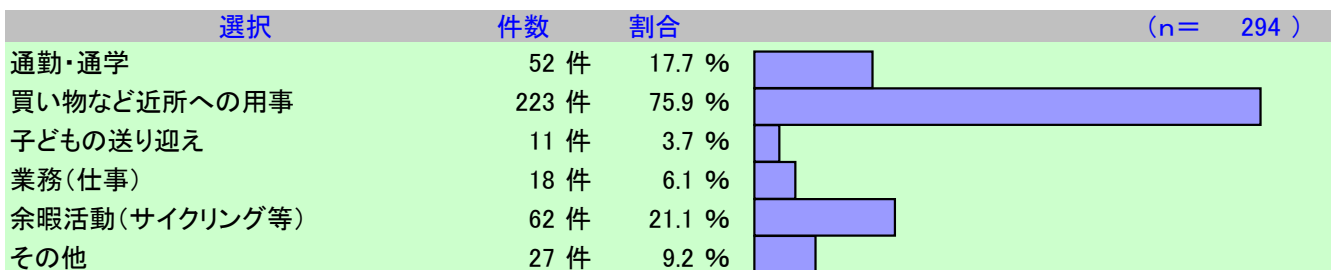
【問1】自転車についてどのようなイメージをお持ちですか。(3つ以内選択)

選択	件数	割合	(n= 403)
健康的だ	296 件	73.4 %	
経済的だ	238 件	59.1 %	
環境にやさしい	231 件	57.3 %	
おしゃれでカッコいい	8 件	2 %	
手軽に移動できて便利だ	280 件	69.5 %	
危険だ	88 件	21.8 %	
不便だ	9 件	2.2 %	
その他	6 件	1.5 %	

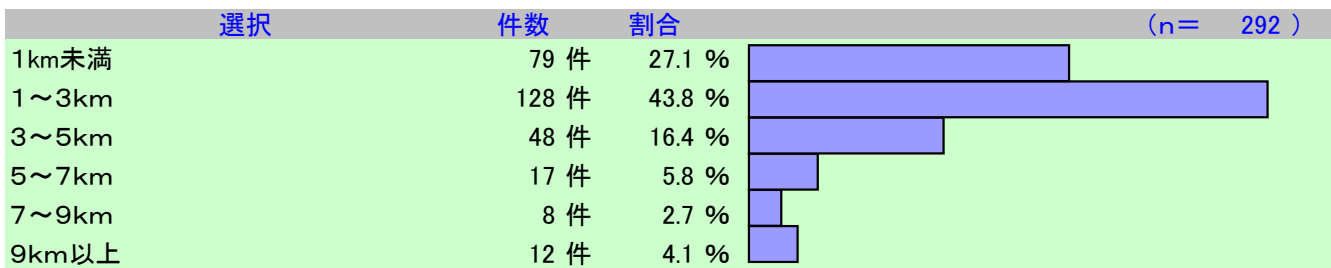
【問2】日常生活において、どのくらい自転車を利用しますか。



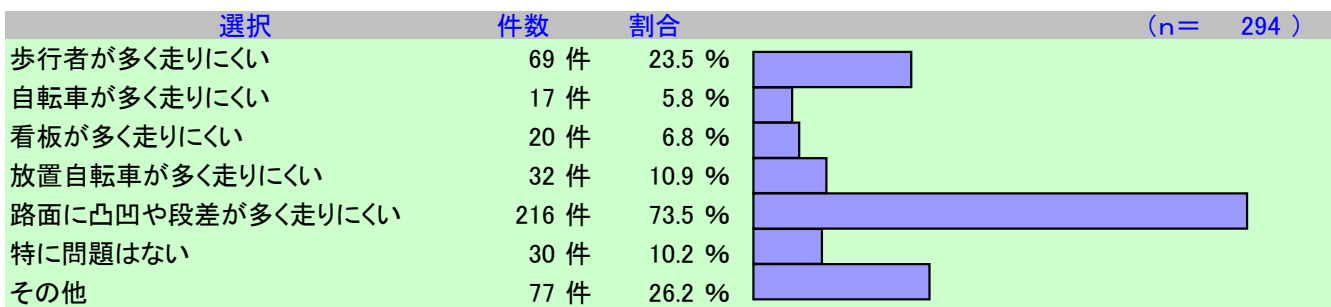
【問3】自転車を利用する目的は何ですか。(2つ以内選択)



【問4】1回当たり(目的地までの往復)の平均的な走行距離はどのくらいですか。

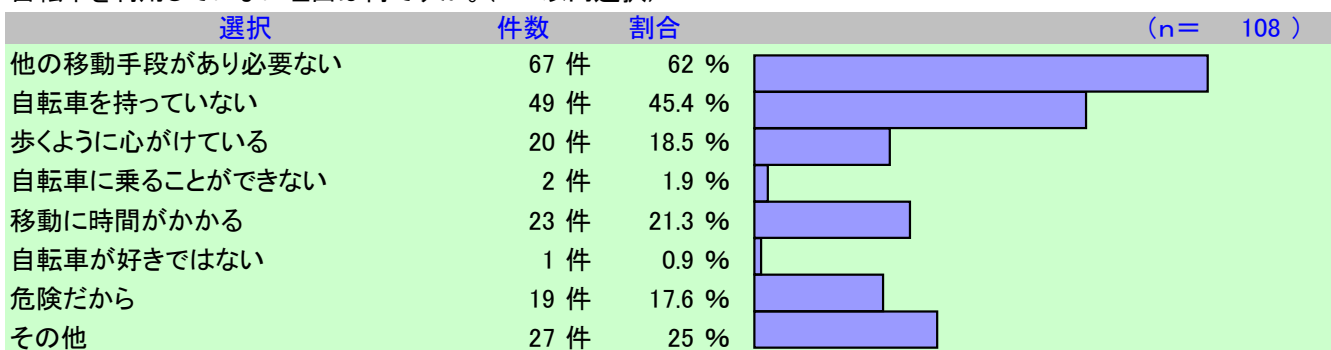


【問5】市内の自転車の走行空間をどのように感じていますか。(3つ以内選択)



【問6】「問2」で自転車を全く利用しないと回答された方にお尋ねします。

自転車を利用していない理由は何ですか。(3つ以内選択)



【問7】街中に複数のステーションがあり、どこで借りてもどこに返してもいいレンタサイクルシステム(事前登録で有料)があれば、利用しようと思いますか。

選択	件数	割合	(n= 401)
利用しようと思う	210 件	52.4 %	
利用しようとは思わない	104 件	25.9 %	
分からない	87 件	21.7 %	

【問8】今後、自転車利用を促進するために、必要と思うことを選んでください。(3つ以内選択)

選択	件数	割合	(n= 403)
自転車専用道路の整備	190 件	47.1 %	
車道への自転車専用レーンの設置	150 件	37.2 %	
歩道でのカラー舗装による自転車走行帯の明示	111 件	27.5 %	
段差の解消や舗装の整備など、走行環境の改善	242 件	60 %	
鉄道駅、バス停留所付近の駐車場の整備	122 件	30.3 %	
公共施設の駐車場の整備	56 件	13.9 %	
自転車利用者のマナー向上	171 件	42.4 %	
既存自転車専用道路のPR	14 件	3.5 %	
サイクリングマップの作成	33 件	8.2 %	
自転車を活用した健康対策事業の実施	33 件	8.2 %	
レンタサイクルの普及	55 件	13.6 %	
その他	28 件	6.9 %	

倉敷市自転車利用促進研究会

所 属	氏 名
企 画 経 営 室	山 崎 要
新 市 ・ ま ち づ く り 推 進 課	安 部 浩
総 務 課	平 田 真 也
防 災 危 機 管 理 室	大 本 進
生 活 安 全 課	樋 口 尚 司
環 境 政 策 課	森 田 政 和
保 健 福 祉 推 進 課	土 橋 正 明
健 康 づ く り 課	日 下 京 子
観 光 課	吉 田 守
商 工 課	別 府 正 樹
都 市 計 画 課	加 藤 数 馬
交 通 政 策 課	下 村 隆 之
市 街 地 開 発 課	小 西 康 夫
道 路 管 理 課	松 本 卓 士
街 路 課	荒 木 政 治
土 木 課	高 旗 渉
指 導 課	神 原 尚 洋
保 健 体 育 課	岡 田 直 利

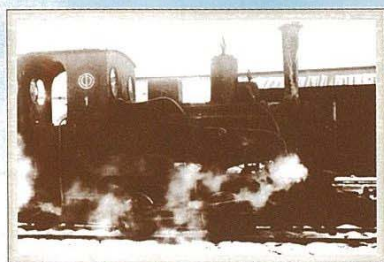
企 画 経 営 室〔 事 務 局 〕	杉 岡 知 裕
企 画 経 営 室〔 事 務 局 〕	堀 井 剛 介

※自転車関連施策を行っている庁内18部署からなる「自転車利用促進研究会」を平成23年5月30日に設置し、計5回の研究会開催や市民アンケートの実施、各種調査を行うとともに、都市交通計画の専門家よりご意見をいただき基本方針案を策定しました。

ゆるやかな風とともに、 昔に想いをはせながら サイクリングやウォーキング

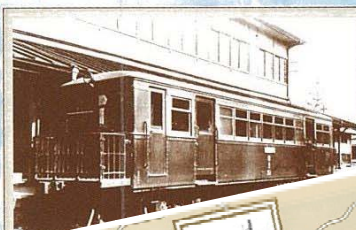
Shimotsui Kojima Chayamachi Course

大正2年、下津井軽便鉄道味野～茶屋町間開通に始まり、下津井の鮮魚や児島の繊維を走り続けた下津井電鉄。その軌跡をサイクリング・ウォーキングでたどってみてください。特に架線を張っていた鉄塔が残り、今にも電車が来そうです。跡地を整備した道は細い。その理由は、全国的にも珍しいナローゲージ軌道幅762mmと単線だった事。駅舎風な駐輪場から下電メルヘン街道(正式名称:茶屋児島自転車道路)は下津井へと約1km続き、桜の時期には多くの人が集います。多くの人が、利用していた昔にオーバー



ドイツ・クラウス社製1号機関車

1911年(明治44年)8月、下津井軽便鉄道株式会社が創立され、1913年(大正2年)11月味野(児島)～茶屋町間14.5kmが開通し、翌1914年(大正3年)3月味野(児島)～下津井間6.5kmが開通し、全線21.0kmとなり、下津井や児島から色んな物を沢山運んでいました。当初は、ドイツ・クラウス社製の蒸気機関車を使用しており、低カロリーの泥炭が燃料で、いっぱい積んで出発しても途中で燃料切れとなり、鷺羽山の坂では乗客が降りて列車の後押しをしていたというエピソードもあります。



1929年(昭和4年)からはガソリン自動車となり、ガソリン自動車1号はエンジン部分が前に突き出ているボンネットバスの様な形で、ハンドルがブレーキになっていました。その後、前後に鮮魚台が付いたガソリン自動車となり、燃料タンクは改造され、全線電化をしました。



〔倉敷市観光客誘致協議会作成「四季のサイクリングウォーキングロードマップ」下津井～茶屋町〕